

整理番号 H11YAHP016

6-1
発送番号 514836

発送日 平成13年10月 3日 1/2

拒絶理由通知書

特許出願の番号	平成11年 特許願 第372165号
起案日	平成13年 9月28日
特許庁審査官	三崎 仁 8928 4T00
特許出願人代理人	安富 康男 (外 2名) 様
適用条文	第29条第2項、第39条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

1. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願日前の下記の出願に係る発明と同一であるから、特許法第39条第1項の規定により特許を受けることができない。

記

- ・請求項1～6
- ・引用文献1
- ・備考

特許請求の範囲の表現は異なるが、本願発明のカーボン含有窒化アルミニウム焼結体は、引用例1のカーボン含有窒化アルミニウム焼結体と同一であると認める。

(なお、上記判断は、貴出願人の出願した特願平11-372165号(引用例1)と特願平11-372163号(既に取り下げられている)について平成13年7月5日に行った面接審査において受けた技術説明に基づいている。)

2. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記 of 刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記

(引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項1～6
- ・引用文献2～8
- ・備考

窒化アルミニウム焼結体に、熱伝導率を向上させるためにカーボン（一般的には結晶質）を添加させることは本出願前常套手段であり（例えば、引用例4第2頁左上欄第13～17行、引用例5第2頁左下欄第19～右下欄第1行参照）、非晶質カーボンを含有するカーボン含有窒化アルミニウム焼結体（引用例2及び3参照）に、更に熱伝導率を向上させるため結晶質カーボンを添加することは当業者が容易になし得ることである。引用例2及び3には、アルカリ土類酸化物、希土類酸化物等を焼結助剤として添加することも記載されている。本願明細書【0016】を参照するに、上記非晶質のカーボンと結晶質のカーボンを含有している窒化アルミニウム焼結体は、本願発明のレーザラマンスペクトルの規定を満たすものと認める。

なお、引用例6～8については、上記面接審査で受けた技術説明を参考にするに、炭素が含有されていない（引用例7及び8）又は炭素が含有されていてもその形態が結晶質である（引用例6）という点で本願発明とは異なる物であるとの心象を持っているが、進歩性の点で本願発明が物として格別優位性があればその点を主張されたい。

引用文献等一覧

1. 特願平11-355551号（特開2001-146476号公報）
2. 特開平5-229871号公報
3. 特開平3-5375号公報
4. 特開昭60-186479号公報
5. 特開平1-179765号公報
6. 特開平9-48668号公報
7. 特開平9-48669号公報
8. 特開平9-110405号公報

217(30)
09 Nov 7 2003